

除草剤分類 4, 2, 27

ウィードコア™ 1キロ粒剤

■登録番号：第24389号 ■有効成分：フロルピラウキシフェンベンジル(通称:リンズコア)・・・0.40%
■規 格：1kg x 12袋 ペノキスラム・・・0.50%、ベンゾピシクロン・・・2.0%

作物名	適用雑草名	使用時期	10アールあたり 使用量	総使用回数※	使用方法
移植水稻	一年生雑草及び キシュウスズメノヒエ、 多年生広葉雑草	移植後7日～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	1kg	本剤:2回以内 フロルピラウキシフェンベンジル:3回以内 ペノキスラム:2回以内 ベンゾピシクロン:3回以内	湛水散布または 無人航空機による散布
直播水稻	一年生雑草及びホタルイ、 ウリカフ、ミズガヤツリ、 セリ、ヒルムシロ	稲3葉期～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで			

ウィードコア™ ジャンボ® SD

■登録番号：第24701号 ■有効成分：フロルピラウキシフェンベンジル(通称:リンズコア)・・・2.0%
■規 格：200g x 20袋 ペノキスラム・・・2.5%、ベンゾピシクロン・・・10.0%

作物名	適用雑草名	使用時期	10アールあたり 使用量	総使用回数※	使用方法
移植水稻	一年生雑草及び ホタルイ、マツパイ、 ミズガヤツリ、ウリカフ、 ヒルムシロ、セリ	移植後10日～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	小包装(パック) 10個(200g)	本剤:2回以内 フロルピラウキシフェンベンジル:3回以内 ペノキスラム:2回以内 ベンゾピシクロン:3回以内	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる

ウィードコア™ 200SD粒剤

■登録番号：第24703号 ■有効成分：フロルピラウキシフェンベンジル(通称:リンズコア)・・・2.0%
■規 格：600g x 10袋 ペノキスラム・・・2.5%、ベンゾピシクロン・・・10.0%

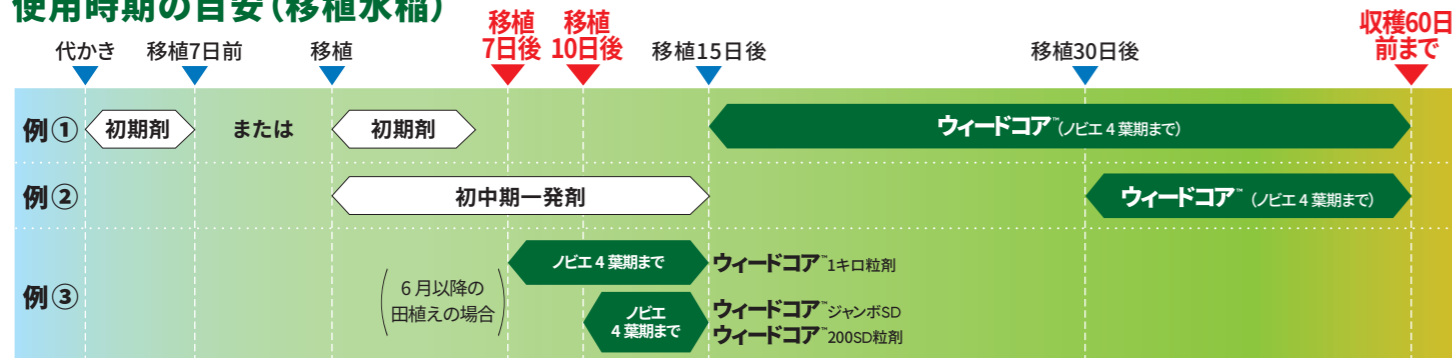
作物名	適用雑草名	使用時期	10アールあたり 使用量	総使用回数※	使用方法
移植水稻	一年生雑草及び ホタルイ、マツパイ、 ミズガヤツリ、ウリカフ、 ヒルムシロ、セリ	移植後10日～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	200g	本剤:2回以内 フロルピラウキシフェンベンジル:3回以内 ペノキスラム:2回以内 ベンゾピシクロン:3回以内	湛水散布、 湛水周縁散布または 無人航空機による散布

※作物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農業の総使用回数を示します。

主な雑草の防除目安 早めの散布を心がけてください。

製品名	ノビエ	ホタルイ	コナギ	クサネム	イボクサ	オモダカ	クログワイ	シズイ	ヒメミノハギ類	ヒレタゴボウ	アゼガヤ
1キロ粒剤			心形葉2葉まで			30cmまで	20cmまで	20cmまで	20cmまで	10cmまで	
ジャンボSD 200SD粒剤	4葉期まで	4葉期まで	4葉期まで	30cmまで	40cmまで	—	—	—	3葉期まで	—	10cmまで

使用時期の目安(移植水稻)



注意事項(抜粋)

<共通>●散布後は水の出入りを止めて、少なくとも3～5日間はそのままの湛水状態を保ち、田面を露出させないよう注意してください。散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。●散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。●次のような条件では被害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。①砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)②軟弱な苗を移植した水田③極端な浅植の水田および浮き苗の多い水田④稲の根が露出している水田●使用後に低温が続くと予想される場合には、稲に生育抑制などの被害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。●いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用の場合は、十分注意してください。いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。●葉害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないよう十分注意してください。●本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。<1キロ粒剤>●散布に当たっては、水深3～5cmの湛水状態で田

面に均一に散布してください。<ジャンボSD>●小包装(パック)に使用しているフィルムは水溶性のため、ぬれた手や汗ばんだ手で作業したり、降雨等で破袋しないよう注意してください。●水溶性フィルムで小包装した製剤をそのまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。<1キロ粒剤・200SD粒剤>●無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。①散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。②散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。③事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整してください。④散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布してください。⑤水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。<ジャンボSD・200SD粒剤>●散布に当たっては、水深5～6cmの湛水状態で散布してください。●藻や浮草が多発している水田では拡散が不十分となり効果の劣る可能性がありますので使用をさけてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋は、ほ場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2023年2月現在の知見に基づき、作成されています。

製造
コルテバ・ジャパン株式会社
〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号
山王パークタワー
https://www.corteva.jp/



取扱

WK3(Book) 23.02.01 ST



理想の水田管理を、 あなたに。

水稻用除草剤

ウィードコア™ 1キロ粒剤

ウィードコア™ ジャンボ® SD

ウィードコア™ 200SD粒剤

Rinskor™ active

- すばやい効果発現
- 4葉期のノビエと大きな広葉雑草に優れた効果
- ノビエ、SU抵抗性を含む広葉雑草、多年生雑草まで同時防除

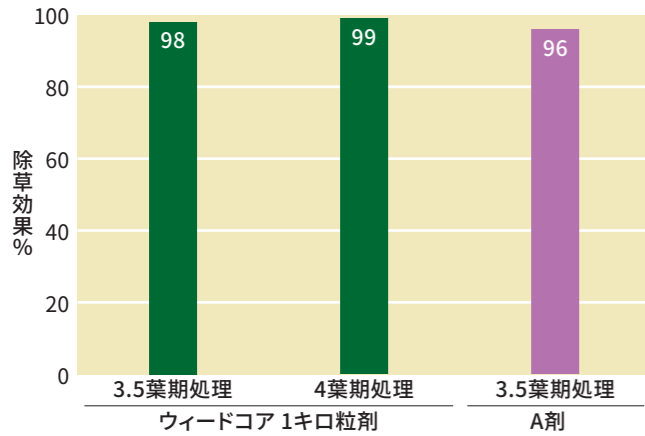
技術資料



Visit us at corteva.jp
TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標 ジャンボ®は(公財)日本植物調節剤研究協会の登録商標

ノビエに対する効果

全国の様々な環境で発生するノビエは、水稲と競合する問題雑草です。ウィードコアは、4葉期までのノビエに高い除草効果を示します。



防除目安
4葉期まで



2015年（公財）日本植物調節剤研究協会 上川
移植：5月20日
処理：3.5葉期は6月11日（移植22日後）、
4葉期は6月14日（移植25日後）に湛水散布
調査：7月17日（移植28日後）に生重を測定、
無処理区と比較し除草効果を算出
（無処理区は532.7g/m²、350本数/m²）

殺草経過事例

▼ウィードコア1キロ粒剤

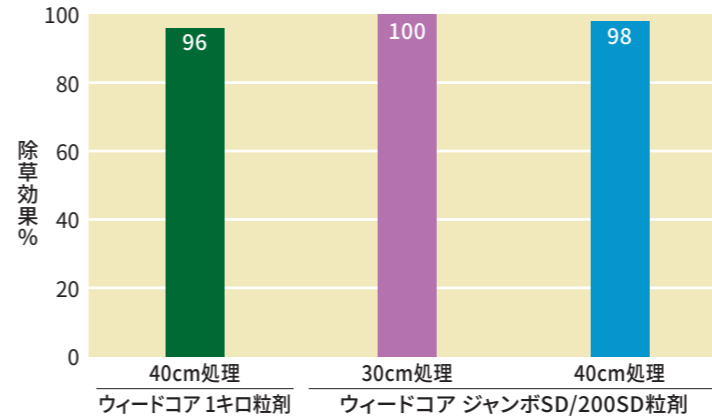
処理前 処理7日後 処理21日後

処理前 処理7日後 処理21日後

◎殺草経過事例の写真は、試験データとは異なる試験で撮影されたものです。

イボクサに対する効果

ツククサ科一年生雑草のイボクサは、地表面を這うように成長し水田に広がります。ウィードコアは、40cmまでのイボクサに効果を示します。



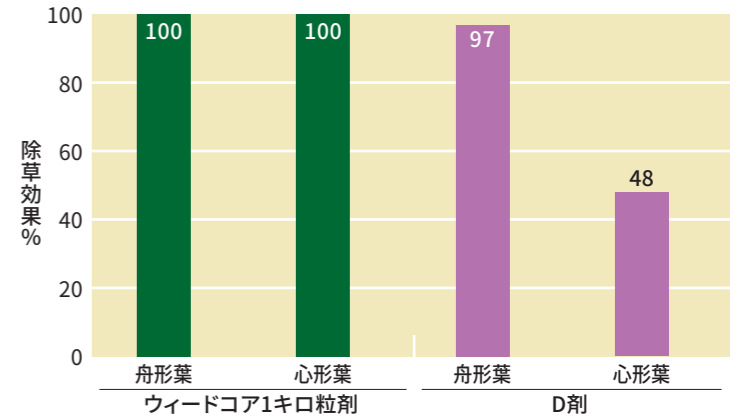
防除目安
約40cmまで



2022年（公財）日本植物調節剤研究協会 茨城
供試雑草：5月18日にイボクサ節片を5個体植え付け
処理：30cmは6月6日、40cmは6月11日に湛水散布
調査：6月25日に達観調査にてイボクサの除草効果
を求めた。
無処理区のイボクサは5個体76.5cm

ミズアオイに対する効果

コナギと似たミズアオイも、SU剤抵抗性個体の発生が認められています。ウィードコア1キロ粒剤は、ミズアオイに対してもすばやく効果を示します。



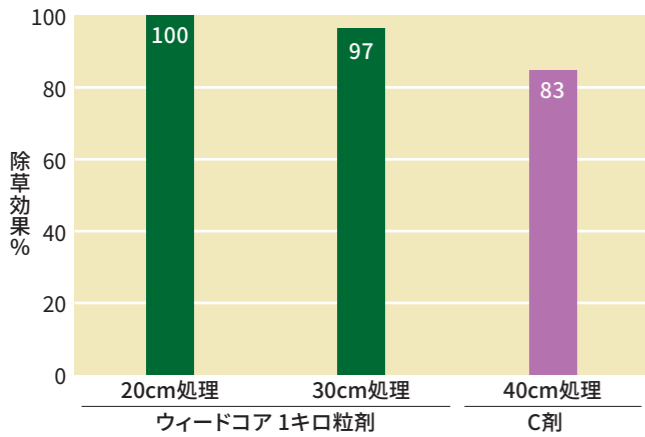
防除目安
心形葉2葉期まで



2015年（公財）日本植物調節剤研究協会 北海道
移植：5月23日
処理：舟形葉は6月30日、
心形葉は7月8日に湛水散布
調査：7月27日に残存する生草重を調査し
除草効果を求めた。
無処理区は512個体、2,489.6g/m²

オモダカに対する効果

矢じり形の葉をもつオモダカは、全国で発生する大型の多年生雑草で、塊茎で増殖し水稲と競合する問題雑草です。ウィードコア1キロ粒剤は、30cmまでのオモダカを防除します。



防除目安
約30cmまで



2015年（公財）日本植物調節剤研究協会 奈良
移植：6月12日
処理：20cmは7月6日、30cmは7月19日、
対照剤は7月31日に湛水散布
調査：8月27日（移植76日後）に残存したオモダカ
の個体数・草丈を測定し除草効果を求めた。

殺草経過事例

処理前 処理1日後

処理3日後 処理7日後

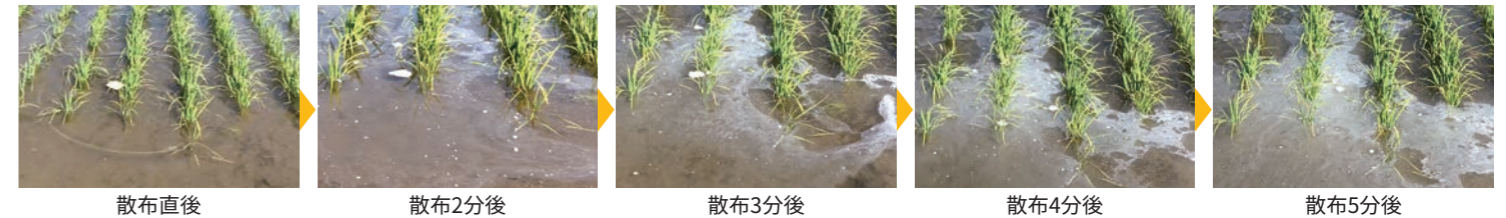
処理14日後 無処理

◎殺草経過事例の写真は、試験データとは異なる試験で撮影されたものです。

ウィードコアジャンボSDの拡散性

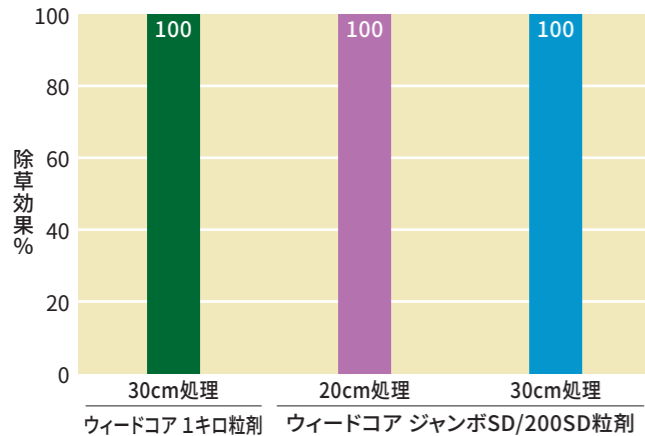
ウィードコアジャンボSDは水田に投入されると速やかに溶解し拡散します。有効成分は24時間以内に水田に広く拡散することが田面水の分析試験により確認されています。風下側に吹き寄せが観察される場合がありますが、これは製剤のキャリアで有効成分ではありません。効果や薬害に影響はなく、1～2日でキャリアも消失します。使用にあたっては、拡散性が阻害されないよう次の条件を確認してください。

- ①5cm以上の湛水が水田全体に確保されている。
- ②浮草、藻類など浮遊物がない。
- ③雑草や稲が過密に繁茂していない。



クサネムに対する効果

マメ科一年生雑草のクサネムは、大きくなると収穫時の障害になったり、種子が糞に混入することがあります。ウィードコアは、30cmまでのクサネムに効果を示します。



防除目安
約30cmまで



2022年（公財）日本植物調節剤研究協会 茨城
供試雑草：5月20日にクサネムを5株移植
処理：20cmは6月4日、30cmは6月13日に湛水散布
調査：8月26日に残存したクサネムの乾物重を調査し
除草効果を求めた。
無処理区のクサネムは5個体140.1g/m²

殺草経過事例

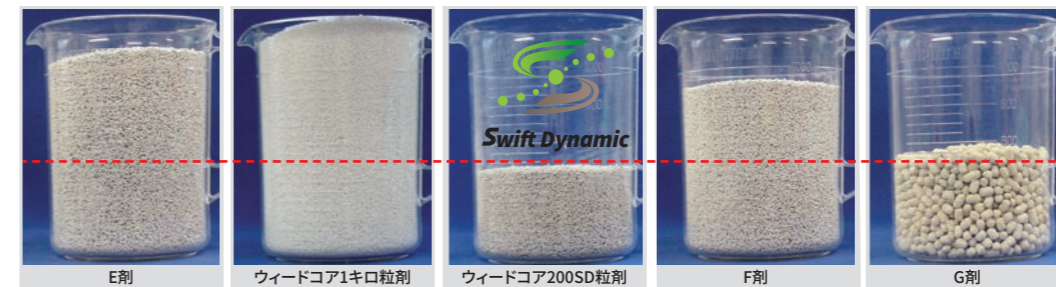
処理前 処理3日後

処理6日後 処理11日後

◎殺草経過事例の写真は、試験データとは異なる試験で撮影されたものです。

SD製剤について

Swift Dynamic製剤（SD製剤）は、近年の生産者の高齢化や圃場大規模化に伴う作業効率化・省力化のニーズに応えるため、（株）エス・ディー・エスバイオテックのオリジナル製剤技術を活かして開発した、水稲除草剤専用の軽量・少量自己拡散製剤です。従来の1キロ粒剤と比較して散布量が200gと軽量な為、散布作業負担の軽減だけでなく、副資材、包装資材の削減に貢献する環境にも配慮した製剤です。



10アールあたりの散布量比較

SD製剤は、1キロ粒剤と比較して粒剤の高が40～50%程度の為、各種散布機の薬剤タンクには約2倍相当の散布量を充填可能です。

